

熱く 羽ばたけ 大潟っ子

白鳥



校長通信  
大潟村立大潟中学校  
令和2年5月29日(金) 発行  
NO.2 文責:安田 和人



## 大潟中学校再始動!

緊急事態宣言の解除により、5月7日(木)から授業が再開されました。学校では新型コロナウイルス感染防止対策として、3密を避け、マスクの着用、換気、手指消毒、ソーシャルディスタンスを保つなど、様々な配慮をしています。

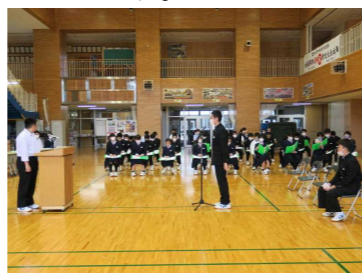
### □「春の体育祭」

この様な状態の中ではありませんでしたが、5月19日(火)には当初の計画通りに春の体育祭を行うことができました。当日は強風と低温といった悪条件の下、選手一人一人の熱い思いと全力プレーによって、大成功を収めることができました。準備期間が短く、種目を削減したり、競技によってはマスク着用したりといった窮屈な状態でしたが、3年生の力強いリーダーシップが存分に発揮された素晴らしい体育祭になったと思います。今年度、全校生徒の笑顔が一番多い一日になりました。小学校の運動会は6月6日(土)に予定されています。晴天の下、小学生の元気な姿が見られることを祈っています。



### □「前期生徒総会」

体育祭が終わって1週間後の5月25日(月)には、今年度初の生徒総会が行われました。こちらでも短期間での準備となり、生徒会執行部の皆さんは苦勞されたと思います。そのおかげもあり総会はスムーズに進行し、どの学年も真剣な態度で臨んでいました。生徒総会は、生徒が自主的に学校生活をよりよくするための議事や提案を、審議し決定するための機関です。今回の総会では各学級の学級目標と学級宣言の発表の後、各委員会の前期活動計画に対する質疑応答などがありました。そして生徒会執行部からは、三つの提案が出されました。生徒手帳には、生徒会会則の他、今まで歩んできた大中学生の歴史が書かれています。一度しっかりと読んでほしいと思います。



### □「カジュアルタイム」

大中の特色の一つに、昼休み後の20分間「カジュアルタイム」があります。昨年度からの取組ですが、ホール、体育館、図書館や教室で思い思いに「ありのまま、自分らしく」過ごしています。3年生は教室でトランプをしたり、黒板に絵を描いたりして過ごしている人が多いようです。ホールではやや「密」になってしまうこともあるようですが、ほぼ学年ごとに職員も混じりながら卓球やバドミントンが行われています。私が特に興味深く見ているのは、体育館でのバスケットボールです。特に決まったチームがある訳ではないようですが、自然発生的に男女が一緒になった1年生対2年生の試合が行われています。他ではなかなか見られない光景です。異学年での交流はとても大切なことです。色々な人とかわるることによって、初めて見えてくることもあります。それぞれ自分らしく、このひとときを楽しんで過ごしましょう。



## 第1回PTA役員会、部活動後援会役員・理事合同会議

5月21日(木) 17:30、18:00から上記の二つの会議がありました。ご参加いただきました皆様、お忙しい中本当にありがとうございました。

### □ PTA役員会での話し合いから

- 各専門部毎に部長・副部長を選出(サルビア掲載)、今年度の事業計画案を作成しました。
    - 総務部:給食試食会(7/15)への参加、大中祭(9/5)への協力、研修会の開催(11月)
    - 文化部:年2回の会報(123号、124号)の発行(10/9、離任式)及び作成のための部会
    - 体育部:大中祭への協力(9/5)、学校保健委員会(11月)
    - 校外指導部:青パトを止め、街頭指導(秋の交通安全週間の朝)、大潟神社宵宮祭での見守り指導、放課後下校時の生徒への声掛け等
- また、三役・学年部長の会では生徒の自転車運転の際のヘルメット着用について検討してもらいました。今後、関連情報等を収集して再度検討することにしました。

### □ 部活動後援会役員・理事合同会議での話し合いから

現状での部活動大会開催可否についての報告、昨年度の決算・今年度の事業計画案・予算案の承認後、賛助会費募集の集金事務について確認しました。

## 時を守り、場を清め、礼を正す

私は皆さんが生活や学習のためのよりよい環境を作っていくには、何よりも一人一人の普段の行動や心がけが大切だと考えています。

「時を守り、場を清め、礼を正す」という言葉があります。

これは明治生まれの哲学者・教育学者の森信三という人の言葉で、規律ある行動や生活にとって大切な3原則を説いたものです。

「時を守り」とは、時間を守ること。「場を清め」とは、掃除をすること。「礼を正す」とは、挨拶や返事をする事です。

そんなことは普段からやっていると思う人もいるかもしれませんが、それぞれの行動には隠された意味があるので、それを紹介します。

時間を守るということは、相手を尊重することであり、それによって自分自身の信用を積み重ねていくことになります。

掃除をすることで、五つのよいことがあります。①「気付く人になる」、②「心を磨く」、③「謙虚になれる」、④「感動の心を育む」、⑤「感謝の心が芽生える」。つまり掃除をすることは、自分の心を磨き、広く、深く、豊かにすることにつながります。

挨拶をするということは、心を開いて相手に迫るということです。人とのコミュニケーションは、世界中どこでも挨拶から始まります。気持ちの良い挨拶がしっかりできる人は、良い人間関係が築ける人です。また返事をする(呼ばれたらはっきり「はい」と言う)ことは、自分から素直な気持ちになるということです。そして素直な人は、何事においても必ず伸びます。

つまりこの3原則は、単に遅刻しないとか、清潔にするとかということだけではなく、人を大切に、自分を高め、人との関係をよくしていくことにつながるのです。

今日、皆さんはどのような気持ちで掃除をしたでしょうか。自分の心と向き合い、一心に雑巾がけをすることができたでしょうか。単に係だからとか、言われるからするということだけではなく、そこにある真の意味を考え、自ら動けるようになってほしいです。

大潟中学校の生徒全員が、自覚と責任をもってこの三つのことを実践することで、集団としての力を高め、今まで以上の歴史と伝統を作ってくれることを期待しています。